

# 第10回大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会議事要旨

1 開催日時 平成19年10月2日(火) 14:30~16:00

2 開催場所 此花会館 3階 大ホール

## 3 会議次第

(1) 開会

(2) 挨拶

環境局廃棄物適正処理担当部長

(3) 議事

① 大阪PCB廃棄物処理事業の進捗について

② PCB廃棄物の搬入日及び搬入時間帯の変更について

③ 環境モニタリング調査結果について

④ その他

(4) 閉会

## 4 出席者

(1) 委員

### 【専門委員】

(医)南労会 環境監視研究所所長 中地 重晴

大阪産業大学講師 花嶋 温子

大阪市立大学大学院教授 廣田 良夫

大阪人間科学大学教授 福永 勲

大阪工業大学教授 渡辺 信久

### 【市民委員】

此花区地域振興会会長 宮川 晴美

(2) 日本環境安全事業株式会社

事業部長 齊藤 眞

事業部上席調査役 庄賀 文彦

大阪事業所長 清水 一雄

大阪事業所副所長 櫻井 健一

大阪事業所安全対策室長 養父 正孝

(3) 大阪市

環境局廃棄物適正処理担当部長 木村 猛

環境局事業部産業廃棄物規制担当課長 堀 純一

環境局事業部産業廃棄物規制担当課長代理 松本 彰

(4) オブザーバー

滋賀県琵琶湖環境部資源循環推進課主幹	曾和 康雄
大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課主査	辻井 洋一
兵庫県健康生活部環境管理局環境整備課技術吏員	常友 大資
和歌山県環境生活部環境政策局廃棄物対策課副主査	高良 浩司

5 議事概要

(1) 大阪PCB廃棄物処理事業の進捗について

[\[資料 1\]\(PDF: 1.836KB\)](#)により日本環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）が説明

【説明の概要】

大阪事業所操業状況

- ・平成18年10月の操業開始からちょうど1年経過した。
- ・搬入実績として、18年度下半期10月から3月においては、トランス類68台、コンデンサ類2,154台、廃PCB等（ドラム缶換算）20本を受け入れた。（12月は定期点検のため搬入停止）
- ・平成19年度上期4月から9月の搬入実績において、トランス類125台、コンデンサ類1,791台、廃PCB等（ドラム缶換算）32本を受け入れた。（8月は定期点検のため搬入停止）
- ・合計としてトランス類193台、コンデンサ類3,945台、廃PCB等（ドラム缶換算）52本を受け入れ、市内保管分に対する率としては、トランス類約15%、コンデンサ類約37%、廃PCB等約16%となる。
- ・処理実績として、18年度はトランス類56台、コンデンサ類1,571台、廃PCB等20本、19年度では、トランス類117台、コンデンサ類2,142台、廃PCB等32本で、合計トランス類173台、コンデンサ類3,713台、廃PCB等52本となっており、搬入実績との差は搬入から中間処理完了までに1~2ヶ月必要のため。
- ・払出実績としては、有価物として、鉄118トン、銅13トン、アルミ16トン、廃棄物として、炭化物9トン、碍子11トン、ビフェニル71トン、塩酸231トンとなっている。

視察・見学状況

- ・平成18年10月から平成19年9月21日までに延べ668団体、3,507名が情報公開設備を視察・見学に来場しており、内訳は、企業関係1,905名、協会関係917名、行政関係319名である。

平成18年度排出源モニタリング結果

- ・19年3月に各排気口におけるPCBとダイオキシン類を測定し、いずれの測定値も維持管理値を下回った。
- ・自主管理目標値では、塩化水素（目標値：0.61ppm）の2点（東棟⑦排気口、塩

酸ベントガスA系排気（測定値：0.7ppm）及び⑨排気口H<sub>2</sub>ガスベントA系排気（測定値：1.1ppm）、ボイラーの窒素酸化物（目標値：60ppm）の1点（ボイラー排気口東No.3（測定値：67ppm））が上回り、再測定を実施した。

- ・分析方法がイオンクロマト分析であったため、ガス状以外の塩素イオンを拾った可能性があったので、再測定では、ろ紙を介して実施した結果、自主管理目標値を下回った。窒素酸化物は、ボイラーメーカーの点検後、再測定をしたところ自主管理目標値を下回った。

#### 卒業判定外部分分析結果

- ・卒業判定は、バッチ毎に施設内分析を行い卒業基準値以下の確認を行っているが、この日常管理の分析のクロスチェックのために、同一検体につき外部分分析機関による分析を行い、施設内分析の結果と比べ、ほぼ同じであることを確認した。

#### 保管事業者説明会の開催

- ・平成18年11月6日の大阪府5行政主催説明会を皮切りに地元此花区から順次24区に対して説明会を実施し、平成19年9月21日の浪速・西成・鶴見区の説明会で一巡した。不参加の方もいたことから来年3月を目標に、もう1度大阪市24区の説明会を計画している。

#### 収集運搬事業者への指導等

- ・現在18社の収集運搬業者が許可を有しており、この事業者と情報交換会を通じて効率のよい「ルート収集」の取組協力の指導等を行っている。

#### 改善工事について

##### 西棟

- ・管理区域レベル1と一般区域の作業環境を管理するためにオンラインモニタリング装置を1基追加し、計測ポイントが6ポイント増え18ポイントになる。
- ・分離回収液の集合タンク周辺の作業環境改善工事を検討中です。
- ・排ガス冷却器支持脚中間スライドベースを点検しやすいように取り付けた。
- ・清掃時にオンラインモニタリングの異常値が出ないように真空加熱分離装置の活性炭の追加を行った。

##### 東棟

- ・PP熱分解時のタールによる配管閉塞対策として、バイパスラインを設置した。
- ・反応器の供給配管液封対策、溶媒配管液封対策として安全弁やエア溜りを設置した。
- ・廃活性炭のフィルタの拔出配管への溶媒洗浄配管を追加した。

#### 東西移送専用容器への分離回収液の過充填について

- ・西棟充填室においてVTRで分離された分離回収液を東西移送専用充填容器に充填中に過充填をし、タンク上部の防油堤部分に溢れ溜まった。
- ・排気濃度を測定した結果、作業環境オンラインモニタリングは0.023mg/m<sup>3</sup>で（作業環境評価基準値：0.1mg/m<sup>3</sup>）、換排気オンラインモニタリングでは0.000 mg/

m<sup>3</sup>で、オンラインモニタリングにおいてもNDであり、環境上の問題はないと考える。

- ・原因は運転者の人為的ミスであり、対策として自動運転で行うようにした。
- ・運転会社に対しては、作業中の安全確保徹底や作業員への作業手順等の再教育を実施した。

ヒヤリハット・キガカリの報告状況

- ・「ヒヤリハット・キガカリ」の傾向として一番に転倒、次に打撲、転落という順番であった。

#### 【質疑等の概要】

(委員) 搬入実績と中間処理完了実績とのマスバランスはどうなっていますか。

(委員) ドラム缶の内容量と本数との考え方は。

(JESCO) 重量については、まず申請のときに重量登録があり、搬入された時に更に重量を測っており、ドラム缶についても個別に重量を計量し、管理している。また、バーコードにより履歴管理を行っています。

(委員) PCBの処理量と塩酸の量、ビフェニルの量において物質収支の問題とクロスチェックはどこで行なったのか。また、排出源モニタリングの再測定でサンプリング方法を変えて行ったことに対しては稼働状況の変化に対する判断ができないと思いますが。

(JESCO) 1番目の質問の回答として、ビフェニル71トンに対して20%の塩酸46トンということで処理のマスバランスもとれています。

2番目の質問の回答として、外部分析機関は中外テクノスという会社です。

3番目の質問の回答として、今後両方のサンプリング方法で分析し、検証します。

(委員) 視察・見学で、地元の方はどのくらいいられていますか。また、若い世代に対し、ここを学習の場として活用してもらい働きかけをしてほしい。

(JESCO) 人数的なことは不明ですが、地元説明会を行ったときに施設の見学を行いました。また、此花区の環境フェアで舞洲工場とスラッジセンター、JESCO大阪事業所の施設を開放しています。ただ、若い世代はあまり参加していないようですので、今後検討していきたい。

(委員) 有価物と廃棄物のこの後の処分はどうなっていますか。

(JESCO) 有価物は資源になります。廃棄物はリサイクルする業者に出しており、炭化物は銅の精錬の原料に、碍子は再生碎石に、ビフェニルはセメントの焼成時の補助燃料や焼却炉の助燃剤で、塩酸はペレット製造の原料に使っていると聞いています。

(委員) 大阪市内分は2年で処理する計画ですが、現在の処理量では半分もいってないようですので、今後どういう形で処理を進めますか。

(JESCO) コンデンサ類については稼働率を上げることで処理できると考えていますが、トランス類は非常に大型のものがあり、どのように搬出するのかという問題

- が残っています。また、P C B漏洩物の安全な運搬方法や処理方法をどうするかという課題が残っており、2年間で処理するのは非常に厳しい状況です。
- (大阪市) 大阪市所有のトランスについても搬入の問題や予算の問題で2年以内は難しいが早期処理を進めていきたい。
- (委員) 現在、P C B分解量から換算すると液処理の稼働率として40%程度と思いますが、処理能力としてこれが限界ですか。
- (JESCO) V T R処理では、一部コンデンサに構造的な問題があり別容器に入れて処理するため1バッチあたりの処理台数が当初見込み量より少なくなっています。また、トランス類については大型のものが入ってこないという搬入上の問題があります。
- (委員) 他事業の稼働率はどうですか。
- (JESCO) 北九州は大阪と同程度で、東京は設備の改造工事を実施しており、当初能力で操業していません。豊田は設備の不具合で停止期間もありましたが、現在は大阪と同程度です。
- (委員) 安全を大前提に技術的な進歩、あるいは予算的なことを含めて進めていただきたい。
- (2) P C B廃棄物の搬入日及び搬入時間帯の変更について

[\[資料 2\]\(PDF : 45KB\)](#)によりJESCOが説明

#### 【説明の概要】

##### 搬入時間帯について

- ・今後、収集エリアの広域化に伴い、交通渋滞やルート収集作業の時間確保という課題に対応する必要がある。
- ・搬入ルートは現行どおり高速道路を通行しますが、搬入時間帯は原則9時~17時を原則9時~19時へ変更する。
- ・時間延長の結果として、搬入車両台数は1日4~5台から（計画当初1日15台の搬入を見込んでいた。）1日5~6台へと1台の増便となる。

##### 搬入日について

- ・保管事業者の事情で土曜日を希望される場合、また、現在雨天時には搬入停止しており、木曜日を雨天時の予備日としていますが雨が長引いた場合の対応として土曜日も搬入日として確保したい。

#### 【質疑等の概要】

- (委員) 搬入日及び搬入時間帯の変更について地元としてはどうでしょうか
- (委員) 各連合町会長は了解しています。
- (委員) 先程の処理量アップの話は1日5, 6台への搬入増で対応可能ということですか。
- (JESCO) そのためにもルート回収をして車両1台あたりの搬入台数を増やしていかなければなりません。
- (3) 環境モニタリング調査結果について

[\[資料 3\] \(PDF : 104KB\)](#)により大阪市が説明

【説明の概要】

平成19年度上半期環境モニタリング調査結果（速報値）

- ・調査地点はJESCO大阪事業所と桜島3丁目で、PCB、ダイオキシン類、ベンゼン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレンについて測定した。
- ・速報値や経年変化等を見ても両地点において大きな変化はなく、生活環境に影響がないという結果です。

【質疑等の概要】

特に無し。

(4) その他

[\[参考資料1\] \(PDF : 92KB\)](#), [\[参考資料2\] \(PDF : 73KB\)](#)によりJESCOが説明

【説明の概要】

特別登録・調整協力割引制度について

- ・近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会からの依頼を受け、特別登録・調整協力割引制度を実施予定です。
- ・特別登録・調整協力割引制度は、平成17年度に実施した早期登録・調整割引制度と同様の制度であり、当該制度では処理料金の3%を割り引きます。
- ・大阪市内分は平成19年11月1日から平成20年4月30日まで実施し、2府4県については後日実施予定です。

日本環境安全事業㈱におけるPCB廃棄物処理事業の進捗状況について

- ・北九州事業は高圧トランス、コンデンサ類の処理を北九州市内から福岡県に拡大し、ウエス、汚泥、安定器等の汚染物処理施設建設に本年より着工した。
- ・東京事業では高圧トランスのほかに柱上トランス（微量PCB含有）も処理している。
- ・東京事業、豊田事業ではそれぞれ都内、豊田市内と地元の処理を行なっている。
- ・北海道事業では高圧トランス・コンデンサ類の処理を来年4月から開始する予定である。

【質疑等の概要】

(委員) 北九州事業の2期工事でVTRを採用したのですか。

(JESCO) 導入しました。

(委員) 事業監視委員会を事業所の視察の意味を含めて1年か2年に1回大阪事業所で開催してもらいたい。

(大阪市) 適当な時期に事業所での開催を検討します。

[\[参考資料3\] \(PDF : 120KB\)](#)により大阪市が報告

前回の委員会でお知らせしていた大阪市の機構改革により委員会設置要綱を、第11条委員会の庶務は、環境局事業部（産業廃棄物規制担当）において処理する、と改正しました。

◎ 配布資料

資料 1	<a href="#">大阪PCB廃棄物処理事業の進捗について</a>	PDF : 1,836KB
資料 2	<a href="#">PCB廃棄物の搬入日及び搬入時間帯の変更について</a>	PDF : 45KB
資料 3	<a href="#">平成 19 年度環境モニタリング調査結果について</a>	PDF : 104KB
参考資料 1	<a href="#">大阪市内における「特別登録・調整協力割引制度」について</a>	PDF : 92KB
参考資料 2	<a href="#">日本環境安全事業(株)におけるPCB廃棄物処理事業の進捗状況</a>	PDF : 73KB
参考資料 3	<a href="#">大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会設置要綱</a>	PDF : 120KB